



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 三機工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1961

URL <https://www.sanki.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)長谷川 勉

問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理本部長 (氏名)川辺 善生

TEL 03-6367-7084

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	40,882	16.0	322	—	547	490.7	428	—
2019年3月期第1四半期	35,252	7.0	△242	—	92	—	△66	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △280百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 41百万円 (△91.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.19	7.18
2019年3月期第1四半期	△1.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	175,422	87,319	49.6
2019年3月期	195,321	89,772	45.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 87,087百万円 2019年3月期 89,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当20円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	11.5	2,200	95.4	2,400	55.8	1,600	101.0	26.85
通期	200,000	△5.8	8,800	△17.3	9,000	△19.7	6,200	△31.5	104.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	62,661,156株	2019年3月期	62,661,156株
2020年3月期1Q	3,067,694株	2019年3月期	3,067,694株
2020年3月期1Q	59,593,462株	2019年3月期1Q	60,590,589株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2019年5月14日発表の数値から変更はありません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、長期ビジョン“Century 2025”で「質」と「信頼」をさらに高め、ステークホルダーの皆さまからもっと「選ばれる」会社を目指しております。当年度は、3カ年の中期経営計画“Century 2025” Phase2の初年度であり、Phase1の「質」を高める取り組みを継続しつつ、新たに「信頼」を高める取り組みを進めてまいります。この実現に向け、引き続き環境変化に柔軟に対応できる企業体制を構築しつつ、新技術の開発、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組み、コンプライアンスの徹底を土台として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け鋭意努力を重ねてまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	受注高	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)
当第1四半期 連結累計期間	46,697	40,882	322	547	428
前第1四半期 連結累計期間	50,885	35,252	△242	92	△66
増減	△4,187	5,629	564	455	494
増減率	△8.2%	16.0%	—	490.7%	—

	当期首	当期末	当期首からの 増減	増減率
繰越受注高	149,829	155,644	5,815	3.9%

受注高につきましては、前年同期と比較して41億8千7百万円減少いたしました。売上高につきましては、前年同期と比較して56億2千9百万円の増収となりました。利益面につきましては、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益のいずれにつきましても前年同期と比較して増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、建築設備事業、機械システム事業及び環境システム事業につきましては、通常の営業形態として、工事の完成引渡しが年度末に集中する影響で、売上高及び利益額が第4四半期に偏る季節要因があります。

① 建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備及びファシリティシステムに関する事業等、建築設備工事の概ね全てを包含する事業で構成されております。

受注高は344億6千1百万円（前年同期比22.9%減）、売上高は346億9千5百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益（経常利益）は7億2千万円（前年同期はセグメント利益5千万円）となりました。

受注高は、前年同期に大型物件を受注した反動等により減少いたしました。

売上高及びセグメント利益（経常利益）は、主に前期からの繰越工事の増加等により増収増益となりました。

② 機械システム事業

主に搬送システム及び搬送機器に関する製造販売事業で構成されております。

受注高は22億5千7百万円（前年同期比0.7%増）、売上高は26億1百万円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益（経常利益）は7千8百万円（前年同期はセグメント損失9千1百万円）となりました。

売上高及びセグメント利益（経常利益）は、大型搬送用設備の工事進捗が進んだこと等により増収増益となりました。

③ 環境システム事業

主に官公庁発注の上下水道施設及び廃棄物処理施設に関する事業で構成されております。

受注高は94億5千1百万円（前年同期比136.0%増）、売上高は31億4千3百万円（前年同期比31.2%増）、セグメント損失（経常損失）は6億9千万円（前年同期はセグメント損失5億2千7百万円）となりました。

受注高は、大型の廃棄物処理施設を受注したこと等により増加いたしました。

④ 不動産事業

売上高は5億2千5百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益（経常利益）は、1億5千6百万円（前年同期はセグメント利益1億4千5百万円）となりました。

⑤ その他

売上高は2億3千3百万円（前年同期比38.0%増）、セグメント利益（経常利益）は、6千6百万円（前年同期はセグメント利益3千7百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,218億8千6百万円（前連結会計年度末比13.8%減）、固定資産は535億3千5百万円（前連結会計年度末比0.8%減）となりました。その結果、総資産は1,754億2千2百万円（前連結会計年度末比10.2%減）となりました。

総資産の減少の主な要因は、流動資産の受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。これは当社グループの売上高は期末に集中するため、各四半期連結会計期間末の受取手形・完成工事未収入金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は738億7千4百万円（前連結会計年度末比19.1%減）、固定負債は142億2千8百万円（前連結会計年度末比0.0%減）となりました。その結果、負債合計は881億3百万円（前連結会計年度末比16.5%減）となりました。

負債の減少の主な要因は、流動負債の支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。これは総資産の減少要因と同様に、各四半期連結会計期間末の支払手形・工事未払金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は873億1千9百万円（前連結会計年度末比2.7%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2019年5月14日発表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	42,612	42,896
受取手形・完成工事未収入金等	85,243	58,196
電子記録債権	6,562	8,576
有価証券	2,000	6,100
未成工事支出金	2,049	2,967
原材料及び貯蔵品	558	657
その他	2,316	2,504
貸倒引当金	△0	△13
流動資産合計	141,342	121,886
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	42,214	42,111
減価償却累計額	△32,840	△32,979
建物・構築物(純額)	9,373	9,132
機械、運搬具及び工具器具備品	1,967	1,981
減価償却累計額	△1,601	△1,622
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	365	358
土地	3,450	3,385
リース資産	712	640
減価償却累計額	△319	△304
リース資産(純額)	392	336
建設仮勘定	747	1,759
有形固定資産合計	14,329	14,972
無形固定資産		
その他	688	654
無形固定資産合計	688	654
投資その他の資産		
投資有価証券	27,879	26,619
長期貸付金	111	101
退職給付に係る資産	4,411	4,394
敷金及び保証金	1,479	1,477
保険積立金	336	340
繰延税金資産	1,264	1,455
その他	5,559	5,605
貸倒引当金	△2,082	△2,085
投資その他の資産合計	38,961	37,908
固定資産合計	53,979	53,535
資産合計	195,321	175,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	68,286	53,609
短期借入金	6,874	6,103
リース債務	392	199
未払法人税等	2,510	85
未成工事受入金	3,395	6,919
賞与引当金	4,180	1,481
役員賞与引当金	242	55
完成工事補償引当金	360	657
工事損失引当金	480	435
その他	4,594	4,327
流動負債合計	91,317	73,874
固定負債		
長期借入金	5,220	4,872
リース債務	280	385
退職給付に係る負債	3,120	3,184
役員退職慰労引当金	52	39
損害賠償引当金	190	190
繰延税金負債	40	48
その他	5,328	5,507
固定負債合計	14,232	14,228
負債合計	105,549	88,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,105	8,105
資本剰余金	4,181	4,181
利益剰余金	73,250	71,505
自己株式	△3,700	△3,700
株主資本合計	81,836	80,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,450	8,733
為替換算調整勘定	△94	△131
退職給付に係る調整累計額	△1,652	△1,605
その他の包括利益累計額合計	7,704	6,996
新株予約権	231	231
純資産合計	89,772	87,319
負債純資産合計	195,321	175,422

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高		
完成工事高	34,730	40,270
不動産事業等売上高	522	612
売上高合計	35,252	40,882
売上原価		
完成工事原価	30,616	35,242
不動産事業等売上原価	306	334
売上原価合計	30,923	35,576
売上総利益		
完成工事総利益	4,113	5,028
不動産事業等総利益	215	277
売上総利益合計	4,329	5,305
販売費及び一般管理費	4,571	4,983
営業利益又は営業損失(△)	△242	322
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	290	289
その他	118	60
営業外収益合計	415	356
営業外費用		
支払利息	36	31
その他	43	99
営業外費用合計	80	130
経常利益	92	547
特別利益		
固定資産売却益	—	32
特別利益合計	—	32
特別損失		
固定資産除却損	116	8
事務所移転費用	4	—
環境対策費用	26	—
特別損失合計	147	8
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△54	572
法人税、住民税及び事業税	40	46
法人税等調整額	△28	97
法人税等合計	12	143
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66	428
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△717
為替換算調整勘定	△42	△37
退職給付に係る調整額	159	46
その他の包括利益合計	107	△708
四半期包括利益	41	△280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41	△280
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△54	572
減価償却費	244	373
固定資産除却損	116	8
事務所移転費用	4	—
環境対策費用	26	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,564	△2,698
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	292	109
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△13
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△274	△44
受取利息及び受取配当金	△296	△296
支払利息	36	31
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△32
売上債権の増減額(△は増加)	15,601	25,307
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△828	△802
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,029	△14,904
未成工事受入金の増減額(△は減少)	3,387	3,448
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,000	△498
その他	299	△61
小計	8,961	10,515
利息及び配当金の受取額	297	297
利息の支払額	△32	△27
法人税等の支払額	△3,678	△2,670
事務所移転費用の支払額	△49	—
環境対策費用の支払額	△149	△115
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,349	7,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△5,500	△4,000
有価証券の償還による収入	5,200	4,000
有形固定資産の取得による支出	△1,044	△1,064
有形固定資産の売却による収入	—	106
有形固定資産の除却による支出	△387	△16
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
貸付けによる支出	△3	—
貸付金の回収による収入	5	10
保険積立金の払戻による収入	25	—
その他	274	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△840
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△790	△771
長期借入金の返済による支出	△347	△347
ストックオプションの行使による収入	0	—
リース債務の返済による支出	△40	△54
配当金の支払額	△1,211	△2,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,389	△3,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,497	3,585
現金及び現金同等物の期首残高	44,866	42,612
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	698
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,364	46,896

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

非連結子会社でありました三機建筑工程(上海)有限公司につきましては、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	30,475	2,114	2,396	452	35,439	169	35,608	△356	35,252
セグメント利益 又は損失(△)	50	△91	△527	145	△423	37	△385	478	92

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額478百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益397百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額55百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損等を特別損失に計上したことによる調整額26百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息及び配当金、全社費用の配賦差額などであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	34,695	2,601	3,143	525	40,965	233	41,199	△317	40,882
セグメント利益 又は損失(△)	720	78	△690	156	265	66	331	216	547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益151百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額56百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損等を特別損失に計上したことによる調整額8百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、全社費用の配賦差額などであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。